

## 第66回兵庫県高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会について

競技部より

### 1. 競技規定と競技方法

- ・2022年度日本ハンドボール協会競技規則、及び大会規定によって行う。  
ただし、2022年7月1日から施行予定の新競技規則のうち、ボールがゴールキーパーの頭部へ直撃した際の罰則の適用については本大会から適用する。
- ・タイムアウトの請求に関しては準決勝より正規の競技規則を適用するものとし、準々決勝までおよび3位決定戦、第5代表決定戦では前後半1回ずつとする。
- ・男女共トーナメント方式とする。
- ・試合時間は準々決勝までは25分ハーフ、準決勝以降は30分ハーフとする。  
(3位決定戦、第5代表決定戦も25分ハーフ)  
時間内に勝敗が決定しない場合には、決勝戦のみ第2延長まで行い、他は第1延長までとする。延長戦は5分ハーフとする。なお勝敗が決定しない場合は7mスローコンテスト(5人制)とする。  
3位決定戦において時間内に勝敗が決定しない場合は延長戦を行わず、7mスローコンテストで勝敗を決定する。
- ・ボールはミカサとモルテンの検定球を使用する。

### 2. 参加手続きとエントリーの変更・追加

- ・各校顧問は別紙大会参加同意書を大会終了まで必ず保管すること。
- ・大会参加申込書に記載されていない選手は、試合に出場することはできない。
- ・大会参加申込書の提出期日以後、これを変更・追加する場合、大会初日より1週間前までに、エントリー変更・追加届け(様式1)を本部事務局まで提出のこと。

### 3. 試合に際しての注意

- ・試合会場に到着すると必ず大会本部へのコールを行い、プログラムを受け取り当日の諸注意を確認すること。
- ・試合会場への入場については、原則試合開始時刻の2時間前以降に行い、試合終了後は1時間を目処に可能な限り速やかに会場から退館すること。
- ・監督は試合開始前に自チームメンバーの点検後、記録シートにサインをして下さい。監督、役員は役員カード(A~D)を付けること。(大会参加申し込み時の登録役員以外はベンチ入りできない)
- ・ユニフォームは必ず濃淡2色を準備すること。特にGKは他の選手と同色にならないように注意すること。
- ・靴下やアンダーウェア等の装具については、(公財)日本ハンドボール協会競技本部、審判委員会の定める「服装や保護を目的とした装具に関する規定」の定めるところとする。
- ・はちまきについては、ゴムバンド式で薄く幅広くないものは許可する。しかし、はちまきは伸縮性でなく、結び目から垂れた部分が危害を及ぼす可能性があるため、使用不可ではあるが、使用に支障がないと認めれば使用を認める。そのため、試合前のトスで確認し決定する。(垂れ下がり部分や結び目の部分を確認する:高体連専門部独自)(「はみ出る」とは、「ユニホームチェックの際に見えていない事」とする)
- ・背番号の配色はユニフォームの色と同系色にならないようにし、明確に背番号がわかること。
- ・試合前のコートでの練習場所は原則として記録席から見て左側を組合せ表の上のチーム、右側を組合せ表の下のチームが使用すること。
- ・ベンチの対面に時間表示がない場合は、コーチングゾーンを超えて時間の確認することを認める。

- ・メンバー表の提出は第1試合の場合は30分前、第2試合以降からは前の試合のハーフタイム時に自チームの試合コートの記録席に提出すること。その時にユニフォーム（CP用2色、GK用2色）を持参し着用ユニフォームを決めること。また、準々決勝以降は選手登録証の提出も行う。
- ・チーム役員の衣服は相手コートプレイヤーと同色でないこと。
- ・試合は必ず体育館専用シューズを用意すること。（アウトシューズを雑巾で拭くことは許可しない）
- ・松ヤニ・粘着スプレー等の使用は禁止。両面テープのみ可。
- ・前半終了時、試合終了時等のベンチを移動する際には、自チームが使用したベンチを消毒したうえで移動すること。
- ・試合開始時刻に顧問教諭（引率責任者）が不在の場合、またはそれに関して何らかの連絡がない場合は、10分間の試合開始遅延後、そのチームの棄権とみなし相手チームに勝利を与える。
- ・監督、役員のスリッパでのベンチ入りは許可しない。
- ・試合終了後、記録シートを受け取り顧問に渡すこと。（進学・就職資料）

#### 4. オフィシャル（記録）に際しての注意

- ・第1試合については第3試合のチームがオフィシャルを行う。（オフィシャルは30分前に、得点係は10分前に来ること）トーナメント表の上側のチームが記録員、下側のチームが得点掲示員とモップ係を出すことを義務付ける。
- ・自チームの試合終了後（2試合目以降）  
勝利チームより記録員（生徒）3名、モップ係（4名）を出すことを義務付ける。
- ・記録員はハーフタイム時に行われた次試合のトスが終了後、次試合のメンバーを公式記録用紙に記入しておくこと。
- ・記録員は試合終了後公式記録用紙を整理する。審判員等のサイン記入後、TDの確認を得たうえでチーム用シートを各チームに渡し、残り2枚は本部に提出。

#### 5. 裁定委員会、上告委員会、テクニカルデレゲート（以下TD）

- ・本大会に裁定委員会、上告委員会を置く。裁定委員会は大会委員長・副委員長・審判長とする。必要に応じて関係者を同席させる。
- ・裁定委員会は大会に関係したすべての問題を審議し、その対応を決定する機関である。
- ・上告委員会は大会委員長・副委員長・総務委員長および競技委員長が指名した委員で構成する。
- ・本大会ではMOを準決勝よりおく。（準々決勝まではTDが兼務する。）

#### 6. 全国大会、近畿大会の出場について

今大会の男女1位チームには第73回高松宮記念杯全日本高等学校ハンドボール選手権大会へ出場する権利と義務を有する。また、男女とも1位から5位までの5チームは第65回近畿高等学校ハンドボール選手権大会へ出場する権利と義務を有する。

#### 7. 代表決定戦について

上記6により、令和4年度の近畿大会における兵庫県の出場枠は、男子5チーム、女子5チームである為、男女とも第5代表決定戦を実施する。

## 8. その他

- ・会場でのゴミは必ず各自で、または各チームで持ち帰ること。
- ・高校生らしくない行為（喫煙、窃盗、暴行、暴言等）のあったときは、以後の公式試合の出場は認めず、学校長への訓告書の送付をすることがある。
- ・会場までの往復路の車中等ではマナーを守り、一般の方々に迷惑のかからないようにすること。
- ・試合終了後、記録用紙を受け取った選手は、顧問の先生に必ず渡すこと。
- ・令和4年度県総合体育大会実施要項を必ず読んでおくこと。
- ・相手チームのゴールの後方での応援は配慮すること。

## 9. 警報発令時等の緊急連絡方法。必ず顧問が行うこと。（高体連ホームページに掲載）

## 10. 感染予防対策について

- ・各会場における感染拡大予防対策を遵守すること。
- ・大会参加申込書に記載された選手(20名)・チーム役員(4名)の入場、また、出場チームの引率責任者が許可した部員とその関係者(20名以内、以下「チーム関係者」と表記する)のみの入場を認める。また、チーム関係者は必ず高体連から渡された許可証を携帯し、提示を求められた場合すぐに提示できるようにする。
- ・チーム関係者を除く、参加者は全員同意書(高体連 HP からダウンロード)を作成後、各校の校長に提出し、許可を得たうえで大会参加申込みを行う。参加申込み後は顧問が保管する。
- ・引率責任者は大会初日受付時にチーム関係者を除く入場者全員分の健康観察表(高体連 HP からダウンロード)を提出する。また、当日は必ず検温を実施し、発熱の症状のみならず、咳や咽頭痛の症状が見られる場合は参加を控えさせる。
- ・会場へのチームの入場は、試合開始予定時間の2時間前から可とする。ただし開館(全会場とも8:30)以前の入場はできない。試合終了後は1時間を目処に可能な限り速やかに会場から退館する。チーム関係者の入場は試合開始予定時間の10分前から可とする。試合終了後は速やかに施設外(学校が会場の場合は学校の敷地外)へ退場する。
- ・会場へは受付にて兵庫県役員の許可を得てからチームでまとまって入場する。その際、必ず手指消毒と検温を実施し、マスクを着用する。チーム関係者は10分前にまとまって入場する。その際に兵庫県役員に許可証を提示する。
- ・コートを使用するウォーミングアップは大会参加申込書に記載されたメンバーに限る。また、声を出してのウォーミングアップを禁ずる。
- ・ウォーミングアップ時や試合に出場している選手を除き、会場内にいる全ての役員・選手・チーム関係者は必ずマスクを着用する。
- ・試合前後のシェイクハンドのセレモニーは行わない。
- ・体育館の換気を十分に行う。また、体育館入り口に消毒液を設置する。
- ・応援は拍手のみで行う。(太鼓などの打楽器は可)また、他の参加者、大会関係者等との距離(できるだけ2m以上)を確保する。
- ・更衣は更衣室を使用する。更衣室内が密にならないようにチーム同士でゆずり合いや工夫をおこなうとともに、更衣後は速やかに退室する。※荷物を置いたままにしない。更衣時もマスク着用を厳守する。
- ・各チームは消毒用アルコールを布に吹きつけたものか除菌シートを自チームで準備し、チームが使用した後のベンチやドアノブ等の触れた箇所をふいて消毒できるようにする。
- ・タオル、スポーツドリンクの共用はしない。
- ・食事をするときは対面にならず、黙食を心掛ける。
- ・大会前後もしくは大会期間中にコロナ関連により各チームに不測の事態が生じた場合は、速やかに各地区委員長に報告し、指示を受ける。

**3年生は最後の大会です。ケガや事故のないように**

**悔いのない、高校生らしい大会となるように頑張ってください！**